

キョーリン AP2 顆粒

〔医療用医薬品再評価（第17次）による「適応症」、
「用法・用量」、 「使用上の注意」のお知らせ〕

昭和55年 8月14日 公示

適 応 症	腰痛症，症候性神経痛，頭痛，月経痛，炎症による咽頭痛・耳痛， 歯痛，術後疼痛
用 法 用 量	通常成人 1回 0.5 g を 1日 3～4 回経口投与する。なお，年齢， 症状により適宜増減する。
使 用 上 の 注 意	<p>(1) 次の患者には投与しないこと 本剤に対し過敏症の既往歴のある患者</p> <p>(2) 次の患者には慎重に投与すること 肝又は腎機能障害のある患者（代謝，排泄が遅延するおそれがある。）</p> <p>(3) 副 作 用</p> <p>1) 過 敏 症 まれに発疹等の過敏症状があらわれることがあるので，この ような場合には投与を中止すること。</p> <p>2) 精神神経系 ときにめまい，頭痛，まれに不眠等の症状があらわれ ることがある。</p> <p>3) 消 化 器 ときに食欲不振，悪心・嘔吐，胃痛，まれに下痢，便秘，口 渇，胸やけ，口内炎等の症状があらわれることがある。</p> <p>4) そ の 他 まれに悪寒，胸部圧迫感，倦怠感，心悸亢進があらわれるこ とがある。</p> <p>(4) 妊婦への投与 妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので，妊婦又は 妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。</p>
*取扱い上 の 注 意	<p>(1) 使用期限：製造の翌月より 5 年，外箱等に表示</p> <p>*2) 貯 法：室温保存</p>

*：経時変化のデータに基づき記載しました。



製造元

杏林製薬株式会社
東京都千代田区神田駿河台2-5

販売元

杏林薬品株式会社
東京都千代田区神田駿河台2-5